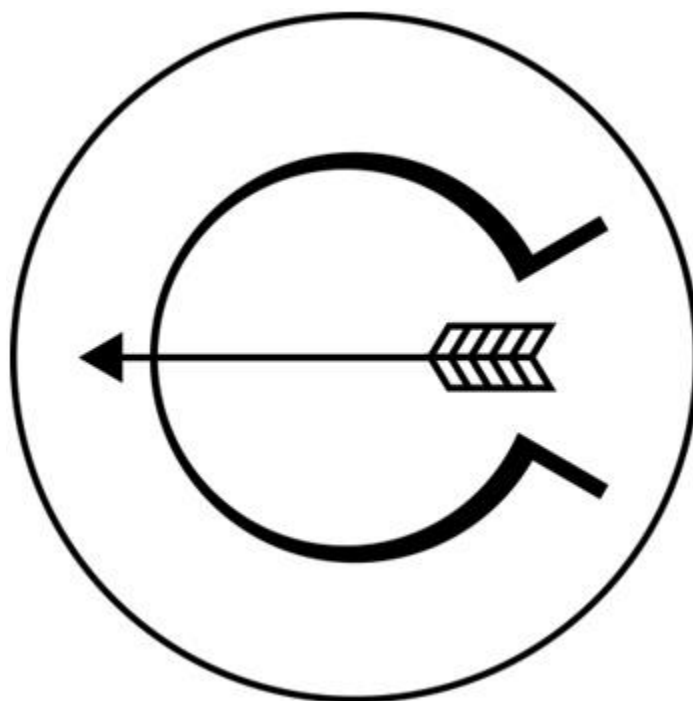


令和5年度リーグ戦・女子部リーグ戦

【修正版】立合要項



東京都学生弓道連盟

目次

1. 対面・オンライン共通事項

- ・携帯品
- ・試合進行
- ・学連への結果報告
- ・試合時間

2. 対面試合の場合

- ・附矢開始時間 30 分前
- ・付け矢
- ・試合開始
- ・試合中
- ・試合終了

3. オンライン試合の場合

【1. 対面・オンライン共通事項】

◇携帯品

- 立合書類一式
 - i 立合要項
 - ii 公式記録用紙(1枚)
 - iii 選手登録用紙(2校分)
 - iv 立順用紙(4枚)
 - v 立合状
 - vi 東京都学生弓道連盟規約(+規約の解釈付)
 - 筆記用具
 - ・黒ボールペン、赤ボールペン
 - 印鑑(主審・副審)
 - 【対面試合のみ】矢筒・矢一手(副審のみ、矢振り用)
- ※三つ巴時、先行・中攻・後攻を明記した矢三本を用意。

◇試合進行

試合は規約に沿って進行させる。(p.9～リーグ戦規定、p.12～新人戦規定)
また、試合進行を円滑にする為に適切な注意を積極的に行うことを要するが、その判断は規約に基づいて厳正・中立、動作は機敏でなくてはならない。※本要項チェック欄を用い、随時進行を確認

◇学連に結果報告

○試合終了次第、速やかに主審は下記 Google フォームより試合結果を報告する。



当日連絡先：学連事務所 03-6910-0791

◇試合時間

	附矢開始～附矢終了	試合開始～
オンラインの場合	9:40～10:20	10:30～
対面の場合(男子)	9:40～10:45	11:00～
対面の場合(女子)	午前 9:40～10:20 午後 13:40～14:20	午前 10:30 午後 14:30

※各時刻の定義

附矢開始時刻：立合の附矢開始宣言時

附矢終了時刻：最後の矢取りが的場から出た時

試合開始時刻：立合の試合開始宣言時

試合終了時刻：各校が道場を出終わった時

・附矢・試合の時刻について、会場の時計を用いることを原則とする。

【2. 対面試合の場合】

附矢開始時刻 30 分前

□師範席に着席

○公式書類再確認 ※各大学巻藁調整

□道場番との設備・進行確認

○双眼鏡の有無の確認

・師範席に置いていない場合は道場番に報告し用意してもらう。

○試合で使用する的の確認（原則）

	附矢	試合	予備
新人戦	8的	6的	2的
リーグ	8的	4的	2的

・予備の的も含め、十分な数が用意してあるかどうか
(試合会場により、附矢の的が少ない場合もある)

・側面の的紙がはがれていないか

・真円に近いかどうか

・的串が的数分用意されているか

○的付け・的見の打ち合わせ

※円滑に試合を開始できるように十分行うこと。

⇒P2【的替】参照

○携帯電話の設定を確認する

※トラブル発生時に学連事務所にすぐに連絡できるようにしておく。また、試合中に着信音等が鳴らないように注意する。

附矢

□附矢開始宣言

開始時間が近づいてきたら主審は師範席の前に立つ。(副審は師範席に座ったまま)
開始時間になったら宣言する。

「附矢を開始して下さい。」

●対戦校が遅刻した場合⇒本要項 P6【トラブル②】

※不戦勝宣言

欠席の連絡があった場合は、速やかに選手を整列させ、

到着している大学の不戦勝を宣言する。

「_____大学の欠席により、_____大学の不戦勝とします。」

□立順用紙配布

附矢開始後、立順用紙を両校(各校)に渡す。

□的替

両校に持ち矢がかかり、附矢終了が近づいたら道場番に的替えをお願いする。
最後の矢取りが的場から出たらすぐに的替えの指示を出す。

※的見の統一

- ・的の呼び方…大前・二的・落前・落
- ・位置の変え方…「〇〇(気持ち)前(後ろ)にしてください。」
- ・高さの変え方…「〇〇(気持ち)上げてください(下げてください)。」
- ・傾きの変え方…「〇〇を〇時ごろ押してください。」

□持ち的確認

- ・各校が控えにそろい、主審・副審は師範席前に立つ。

「持ち的の確認をお願いします」

(各校持ち的の確認)

- ・持ち的の確認は上位校・下位校の順に行う。
- ・下位校が持ち的の確認を行ない、的の位置をずらした時は再度、上位校に確認をし直す。
- ・確認が済んだら串的の串をつけさせる。串的の串は必ず使用すること。

「串を付けてください。」

「結構です。」

試合開始

□試合開始宣言

上位校から順に主将の前で正座し、礼をして小さな声で

「時間となりましたので(時間より少々早いようですが・遅くなりましたが)

試合を開始させていただいてよろしいでしょうか」

了解が取れたら、礼をして立つ。再び主審・副審が師範席前に揃う。

「ご集合願います。」

- ・両校の選手を整列させ、次のように宣言する。

「只今より、平成 年度リーグ戦

第 週(順位決定戦・ 部— 部入替戦・新人戦 回戦)、

大学対 大学の試合を開始させていただきます。」

- ・立順用紙提出・交換

「試合に先立ちまして、両校(各校 ※三つ巴時)主将による立順用紙の提出、
並びに交換をお願い致します。」

- ・矢振り

「試合の先攻・後攻は矢振りにより決定致します。両校(各校)主将の方、

ジャンケンをお願いします。」

(副審による矢振り)

「只今の矢振りの結果、先攻 _____ 大学、後攻 _____ 大学により
試合を開始させていただきます。」

なお、試合中に生じた出来事につきましては、学連規約により処理させていただきます。双方(各校)、礼。」

□出場選手照合

主将から受け取った立順用紙を速やかに選手登録用紙と照らし合わせる。

- 出場選手名(フルネーム)の確認
- 補欠登録選手も同様に確認
- 学年・新人の確認

※全ての選手が登録されているか確認し、それが終わるまでは立を始めさせない。

●選手登録用紙に登録されていない選手がいる場合⇒本要項P6【トラブル④】

□公式記録用紙・黒板に記入

※別紙「公式記録見本」及び「公式記録のつけ方」参照。

○黒板に記入

- ・各立の確認終了後、公式記録用紙に従って記入する。

試合中

試合中は師範席に座って記録するとともに、射手の行為を確かめの中を確認する。

□的中確認

- ・落の選手が本座まで退場、安全確認次第

「お願いします。」

(的中確認)

※確認が終わるまで矢を抜かせない。

●確認前に矢に触れてしまった場合⇒本要項P6【トラブル④】

- ・公式記録の的中と確認内容に差異がなければ

「結構です。」

(各校矢取り)

●不明な矢が出た場合⇒本要項P6【トラブル④】

※行射の妨げとなる危険矢が出た場合、行射を一時中止し当該的のみの中確認を行う。

主審と看的側での的中確認が取れ次第、当該的のみ矢取りを行う。

⇒行射終了後の的中確認は、取り除いた矢の的中を含める。

例)○×(1・2本目)→2本目が危険矢/的中確認・矢取り/行射再開

→○○(3・4本目) ⇒行射終了後の的中確認「三中(○×/○○)」

□選手交替

- 立順用紙の補欠登録選手と照合
- 公式記録用紙へ記入
- 相手校への通知を確認
 - 当該の立の入場、行射
- ※届出のない場合は交替選手の矢を無効とする。また、同一試合中の再出場は認めない。
 - 不適切な選手交替がなされた場合⇒本要項 P.6【トラブル㊦】

□的が外れた場合

- ・次の取懸けを止め、安全確認次第
 - 「お願いします。」
 - (当該的的中確認)
 - ※立後の的中確認同様、確認が終わるまで矢を抜かせない。
 - 「結構です。的を掛けてください。」
- ・当該的で引く両校(各校)の選手を集め、再度持ち的の確認を行う。

□その他トラブルが生じた場合

規約及び立合要項によって処理する。ただし、判断がつかないときは学連事務所に連絡する。
 ⇒表紙【学連事務所電話番号】参照
 主なトラブルについては、本要項 P.6 以降を参照のこと。

試合終了

□試合結果確認

- ・公式記録用紙を持ち、上位校から順に主将の前で床に正座し、
 - 「記録用紙の確認をお願い致します。」

□勝敗宣言

- ・両校(各校)確認終了後、試合開始と同様、師範席の前に並ぶ。
 - 「ご集合願います。」
 - 「只今の試合の結果、先攻 大学 中、後攻 大学 中、
よって 大学の勝ちとさせていただきます。」
- ※皆中賞がいた場合
 - 「尚、只今の試合で 大学 年 さんが皆中賞を獲得致しました。」
 - 「双方(各校)、礼。」

□同中競射

- ・試合結果の確認後、選手を整列させて次のように宣言する。
 - 「只今の試合の結果、先攻 大学 中、後攻 大学 中、
よって同中となりましたので、一手競射(決定しない場合、一本競射で決定するまで)を執り行います。競射の先攻・後攻は矢振りにより決定致します。……」
- ※選手交代は認められる。⇒規約【第六十四条】参照
- ・一本競射が続く場合、毎回矢振りを行う。

- ・勝敗がついたら再び集合させる。

「ご集合願います。」

「只今の競射の結果、先攻 大学 中、後攻 大学 中、
よって 大学の勝ちとさせていただきます。双方(各校)、礼。」

◇審判規定・競技規定

東京都学生弓道連盟規約 第八章 審判規定 参照

東京都学生弓道連盟規約 第九章 競技規定 参照

及び、規約の解釈(規約に添付)を参照

【3. オンライン試合の場合】

令和5年度リーグ戦・女子部リーグ戦 オンラインマニュアルをご参照ください。

◇主なトラブル対処法

①附矢開始 30 分前に間に合わない場合

○学連事務所に速やかに連絡する

TEL 03-3215-4588 / 03-3212-3013

→待機している学連役員が、各校責任者に取り次ぎます。

②対戦校が遅刻した場合

○どちらか一方の大学が会場に到着していなくても開始してよい。

対戦校が来ない場合は**すぐに学連事務所に連絡する。**

○遅刻の連絡があった場合附矢終了後に両校がそろうまで待機させる。

○**試合開始時刻に間に合わない場合は遅刻した大学の棄権とみなす。**

(但し学連側の不手際や天変地異などの正当な理由がある場合は除く。)

③選手登録用紙に登録されていない選手がいる場合

○責任者に選手登録されていない者は出場が認められないことを伝える。

→解決しない場合は速やかに学連事務所に連絡する

④確認前に矢に触れてしまった場合

○その的全ての矢を外れとする。

【学連規約より抜粋】

第三十七条 的中規定は次の規定に従う。

③行射終了後、的中確認をする前に矢を一本でも抜いた場合、その的全ての矢を外れとする。なお、それに準ずる接触行為も同様とする。

また、的直し等においても的中確認を要する。ただし、行射前の場合であれば的中確認の必要はない。

⑤不明な矢が出た場合

○主審自らの場で確認する。その際、決して矢に触れてはならない。

○「規約の解釈」を参照(学連規約冊子に添付)

→解決しない場合は学連事務所に速やかに連絡し、判断を待つ。

⑥不適切な選手交替がなされた場合

【学連規約より抜粋】

(リーグ戦の場合)

第六十三条

①各大学は試合開始前に当日の試合に出場する選手八名と控え四名の氏名を立合い及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく出場した場合、当該選手の矢を全て外れとする。

第六十五条

選手交代する時には、当該する立が本座に進む前に立合い及び相手校に書面で通知しなければならない。通知なく交替選手が出場した場合、当該選手の矢を外れとする。

7 失矢について

○失矢については、「弓の本はずが膝から離れたあとに落ちた矢」を失矢とみなす。
失矢かどうかの判断は立合が行う。

8 監督・介添えの指導について

以下の行為を行った場合、該当する全体的な矢を外れとする。

【学連規約より抜粋】

第四十六条

①選手が射位にいるとき監督・介添え・観客・選手間で次の行為または指導をしてはならない。

一、選手の体に触れて指導すること。

二、選手の狙いを見ること。

三、射位より前に出ること。

四、選手が審判の死角となる位置に出ること。

②前項の行為を行った場合、該当する全体的な矢を外れとする。

9 引き直しについて

【学連規約より抜粋】

第四十五条

① 打起こしを開始した以降の引き直しはこれを認めない。但し試合運営に支障が生じる場合を除く。なお、試合運営に支障が生じる場合は突発的な災害や事故及び危険な場合であり、引き直しに該当するかどうかの判断は主審が行う。

② 打起こしの基準は、本弦が顎頭から離れた瞬間とする。

③ 当該校が引き直しを主張できるのは当該選手が次の矢の打起こしを行うまでとする。但し、最終矢に関しては、的中確認まで主張できるものとする。

引き直しの手順は以下の通りです。

- ① 選手から引き直しの要請がある。
- ② 引き直しを行うかどうかの判断。トラブル解決。
- ③ 行射再開後、全選手の行射終了を待つ。
- ④ 的中確認および矢取り。
- ⑤ 主審の指導で引き直しを行う。